

きゅうこん 球根

【作:北側 冬彦 (詩人・映画評論家)】

葉が枯れたから 掘ってみると 球根は、しっかりと肥えてゐる
まわりには、幾つもの子をつけて



私たちの目に触れる葉っぱや茎と地中の根があって初めて植物が生存できるように、人間もまた、見える部分と見えない部分がお互いにバランスを取りながら生きているのです。

私たちは人生でいろいろな試練に直面しますが、裏側にはそれと同じだけの恵みが隠れていると言われています。その人(自分)にとってマイナスに思える出来事がある人を鍛え豊かにして人間らしさを大きく成長させてくれることを忘れてはいけません。(詩の解説)

・ 個人懇談会、及び作品鑑賞週間のお知らせ (よろしくお祈りします)

個人懇談会 12月12日(木)、13日(金)、16日(月)、17日(火)

※ 全学年、給食、及び清掃の後、13時30分頃の下校となります。

作品鑑賞週間 12月12日(木)～12月17日(火)

※ 保護者のみなさんは、クラス前廊下に展示されている児童の図工の作品を、上の個人懇談の日程にあわせて鑑賞することができます。13:30～(17:00)まで



・ 「いじめが許されない理由」 11/6(水) 全校朝会、校長講話より

11月6日、水曜日の全校朝会(体育館)で、いじめ防止についての校長講話を短い時間でしたが、普段より増して気持ちを込めて行いました。児童が理解⇒実行に繋がればと切に願います。内容の柱は、下の1～5についてです。お知らせしますと共に、家庭での共有をお願いします。(下は話のポイントの抜粋です)

1、言葉やしてしまったことは消せない

○どんな言い訳もできません。自分の言った事やした事が相手を傷つける武器にもなることを覚えておこう。

2、本人は「やめて」が言えない

○他の人が気付いてあげることが大切。その人の気持ちを分かってあげようとする優しい声掛けをしよう。

3、違いを認めよう

○人には違いがあり、違いがあるから良い。違いを認め合い、互いの良さを見つけ合い、伝え合いましょよう。

4、周りから「やめよう」の行動をしよう

○「やめよう」を言うには勇気がいりますが、友達と一緒に、また、先生やお家の人の力を借りてでも言いましょよう。見て見ぬ振りをするのはいじめと同じです。だから、いじめがなくなるのです。

5、いじめは自分に返って来る

○お風呂の中でお湯を浴槽の縁に押し出すと必ず自分に返って来ます。いじめもそれと同じ。相手にした事は後に自分に返って来ます。このことは宇宙の法則と同じで、必ずと言っていい程、間違いがないです。

その他、本当に強い人、人間ができた人は、他人の弱点(弱み)を攻めない

・ 雑感：「本もっと読みたい」7割 ～『読書の秋』に関する、新聞記事より～

10月26日から11月24日までの期間は『秋の読書推進月間』。先日、上のタイトルの記事を読みました。全国世論調査によると、「本をもっと読みたい」と思っている人は73パーセントと7割を超えているそうです。また『本を読むことの良いところ』を訪ねたところ、「新しい知識や情報を得られる」、「豊かな言葉や表現を学べる」、「感性が豊かになる」、「想像力が養える」がベスト4が多かったです。また、別の日の記事では、『乳幼児期から壮年期の間で、どの時期の読書が大切か』の調査では、学童期【小学校低～中学年】の割合が一番大きかったです。

その他の記事で「本を読まない」と答えた人の理由で一番多かったのは「時間が無い」でした。本校でも学年が上がるほど放課後の忙しさが感じとられます。

しかし、大切な読書習慣。時間を作り出す工夫が必要なのでは思っています。

